



個人装備品(高等科)

・軽装備機材一式

(水中メガネ・スノーケル・足ヒレ(ベルト付)・ウエイト及びベルト)
*ウエイトは一人 8kg ご用意願います。

・重装備機材一式

レギュレーターには,セフティセカンドステージ(オクトパスとも言う) +空気圧力計・水深計・(ダイビングコンピュータを使用の場合は,半飽和組織 16 飽和で演算された物をご用意ください。) +磁気コンパス・水中フォイスル・

- ・バディロープ(1.5m 両端をループにする。)
- ・水中ライト(点滅が着いている物)
- ・水中筆記具
- ・膝及び肘あて
- ・懸垂下降用ハーネス(簡易シットハーネス構築のためのロープまたはウエビングテープ4メートル以上5メートル未満1本)
- ・捜索ロープ7m1本
- ・カラビナ4個(2個はロック付き)
- ・潜水ヘルメット
- ・フード
- ・ボンベバックアップハーネス
- ・ボンベ4本(1人:8本必要)
*ボンベのリースはありませんがJPRCで4本は用意します。
- ・フルフェイスマスク
- ・スイミングゴーグル+キャップ

その他

- ・洗眼水(目薬でも可)
- ・個人で必要と思われる物(昼食・飲み物・防寒着)
- *その他不明な点はお尋ねください。

注意事項

- ・項目について不明な点は必ず納得して訓練を遂行してください。
- ・訓練期間中は日本公的機関救助潜水士養成センターの教官の指示に従った行動をしていただきます。
- ・休憩時間中の裸体や裸体のままの歩行は厳に慎みます。
- ・体調不良の申し出は迷うことなく申告してください。
- ・公的機関の隊員としての節度ある振る舞いをお願いします。
 - * 圧平衡ヘスムーズに対応できること。(例：耳・副鼻腔)
 - * 課程開始までに呼吸停止 60 秒の練習をしておくといいです。